

2018年度(平成30年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

<学校用>

校番(13)番 福山市立 蔵王小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	課題発見・解決力	論理的思考力・表現力	協働性	自己指導力
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童の姿)	○課題を見つけ、見通しを持って仲間と共に解決しようとしている。	○自分の意見と相手の意見を比べながら聞き、根拠を明らかにして自分の考えを説明することができる。	○相手意識を持ち、積極的に人間関係を築こうとしている。	○様々な活動に進んで挑戦し、責任を持ってやりとげようとしている。 ○自らの行動や学びが適切であるか振り返りながら、より良い生き方を考え創り上げようとしている。

2 授業の現状

- 児童が題材・教材に対して、「問い」を持ち、課題解決意識を必然的に抱くような教材提示の仕方や児童の対話的な学びを生み出す教師の「切り返し」や「問い直し」の質を向上させる必要がある。
- 自己指導力を鍛えるという点で「ふりかえり」指導のあり方の研究を進めていく必要がある。

転換

3 めざす授業の姿

- 児童自身が「考えたい」という思いで課題をもち、単元のゴールを見通しながら、積極的に課題を追求することができる授業
- 根拠を明確にしながらか自分の考えを交流し、論理的思考を深めることができる授業
- 「ふりかえり」の場を通して、集団における考えの深まり・広がりや成長する自己と集団を実感することができる授業

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> ○学級経営進捗状況確認表を活用し、6月までに全学級A評価を80%以上にする。 ○模擬授業を6月までに1人1回以上行い、「課題発見・解決学習」の単元計画を明確な視点で見直ししながら実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学級経営進捗状況確認表の項目を達成できるよう取組を進め、7月までに88%達成した。 ○模擬授業を6月までに1人1回以上行なった。「課題発見・解決学習」を意識した授業づくりでは、児童の主体的な学びを仕組めない学級もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業力振り返りシートを活用し、10月までに全学級A評価を80%以上にする。 ○9月の道徳、10月に国語科での公開授業を1人1回以上行い、「課題発見・解決学習」の単元計画の実施、子供達が自分達で創り上げていく授業を具現化する。 			

5 取組の結果等

数値は2018年(H30年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

	A・知識	B・活用
国語	70 (-3)	53 (-6)
算数	57 (-9)	44 (-10)
理科	55(-5.3)	

()は県平均との差

基礎基本定着状況調査(児童質問紙調査)(%)

内容	国語		算数		理科	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	31.4	31.4	28.6	37.1	71.4	17.1
学校が楽しい	80.0					

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (7)月末現在

暴力行為	0.0	不登校	0.0
------	-----	-----	-----

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 30 / 48	●男子において立ち幅とび・ボール投げの達成率が下がった。	○男子の立ち幅とび・ソフトボール投げ、女子のシャトルランの達成率が低い。	○体力向上に取り組むことのできるコーナーを設け、活用させる。 ○体力向上に取り組むための教材・教具の開発を行う。
(女子) 32 / 48	○握力の達成率が向上した。		
目標値	○立ち幅とび・ソフトボール投げ・シャトルランの達成率を全国・県平均値以上にする。 ○全学年全種目の中で県平均以上の項目を70%以上にする。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	よく	当てはまる
仕事にやりがいを感じている	36.40	27.3
仕事に充実感がある	18.2	18.2

児童生徒アンケート(%)

質問項目	当てはまる	少し
授業で考えることが面白い	50.2	24.7
自分の考えは、認められている	46.7	29.8